



ホームタウン稲沢市内の全小学校 23 校に『スマイルボール』を贈呈！

この度、ウルフドッグス名古屋はホームタウンである稲沢市内の全小学校 23 校へ「スマイルボール」を贈呈するにあたり、2月13日(金)稲沢市役所にて贈呈式を行いました。

このスマイルボール贈呈プロジェクトは、バレーボールクラブとして競技の普及・発展に取り組むとともに、地域子どもたちがスポーツに親しむ機会を創出したいという想いから実施するもので、この趣旨にご賛同いただきました日本貨物鉄道株式会社様ご協力のもと、稲沢市内の小学校への寄贈が実現いたしました。今回のスマイルボール贈呈を通じて、子どもたちがバレーボールを身近に感じ親しみをもっていただくとともに、「バレーボールチームのあるまち・稲沢市」の認知向上を図り、地域の活性化につなげてまいります。

【寄贈内容】

- ▷寄贈品：小学生用スマイルボール 115 球〔各校 5 球〕
- ▷寄贈先：ホームタウン稲沢市内小学校 全 23 校

【代表者挨拶・コメント】

■稲沢市長・加藤錠司郎様

本日は稲沢市内の小学校 23 校にそれぞれ 5 個ずつのスマイルボールを寄付していただき、本当にありがとうございました。JR 貨物様は、貨物で日本全国をつなぐということで様々な物流の動脈として活躍されており、旧国鉄時代の最盛期には 2000 人程の従業員がみえまして、鉄道の街としての稲沢というものが非常に大きくありました。そしてまさに操車場のあった場所にエントリオが令和 2 年に完成をいたしましてウルフドッグス名古屋の本拠地として使われるようになり、今はバレーボールのみならず、ハンドボールやバスケットボールなど様々な活用されております。今年 9 月にはアジア競技大会も開かれるということで、稲沢の非常に大きな魅力を創造する施設としてエントリオができたということでございます。その両者、ウルフドッグス名古屋様と JR 貨物様の両方からのご寄贈ということで、二重にありがたく思うところでございます。これからも、ウルフドッグス名古屋はリーグ戦優勝を目指してほしいと思っておりますし、JR 貨物様におかれましては今後とも物流の大動脈として、日本全国のそれぞれの生活や企業活動を支えていただきますようお願い申し上げます。

■ウルフドッグス名古屋・シニアゼネラルマネージャー 横井俊広

JR 貨物様とは、エントリオが昔の国鉄時代の貨物列車操車場跡地であることがご縁で、ウルフドッグスアクションパートナーとして我々の活動にいろいろな形で継続的にご支援いただいております。バレーボールはつなぐスポーツですので、稲沢市の全小学校の皆さん、JR 貨物様、そしてウルフドッグス名古屋が繋がっていけることは私自身も大変嬉しく思います。ぜひこのようなご縁から末長くバレーボールに親しんでいただき、また JR 貨物様と一緒に稲沢市にいろいろな形で繋がっていきえるように願っております。

■日本貨物鉄道株式会社 東海支社 支社長 齋藤哲也様

当社は長年にわたり、この稲沢の地で貨物鉄道事業を営んでおり、昨年は稲沢駅 100 周年の記念イベントを開催するなど、地域の皆様に支えていただきながら、今日まで共に歩んでまいりました。そのような中で、日頃お世話になっている地域の皆様へ何か恩返しができないかと常々考えていたところ、当社がアクションパートナーとして応援しております、ウルフドッグス名古屋様よりお声掛けをいただきまして、今回のバレーボール寄贈が実現いたしました。ウルフドッグス様の掲げる「果敢に挑戦」という理念、そしてバレーボールはつなぐスポーツであるということ。当社の掲げるブランドメッセージも「日本を運ぶ日本をつなぐ」ということですので、人と地域、地域と世界をつなぎ、新たな価値や感動体験の創出をしたいという思いには深く共感しているところです。今回寄贈させていただくバレーボールを通じて、子供たちがスポーツに親しみ、体を動かす楽しさ、仲間と協力することの大切さを学び、たくさんの笑顔が生まれることを心より願っております。今後とも地域に根差した企業として、地域貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

【贈呈式の様子】



ウルドくん

日本貨物鉄道株式会社
東海支社 齋藤支社長

稲沢市
加藤市長

ウルフドッグス名古屋
横井 SGM